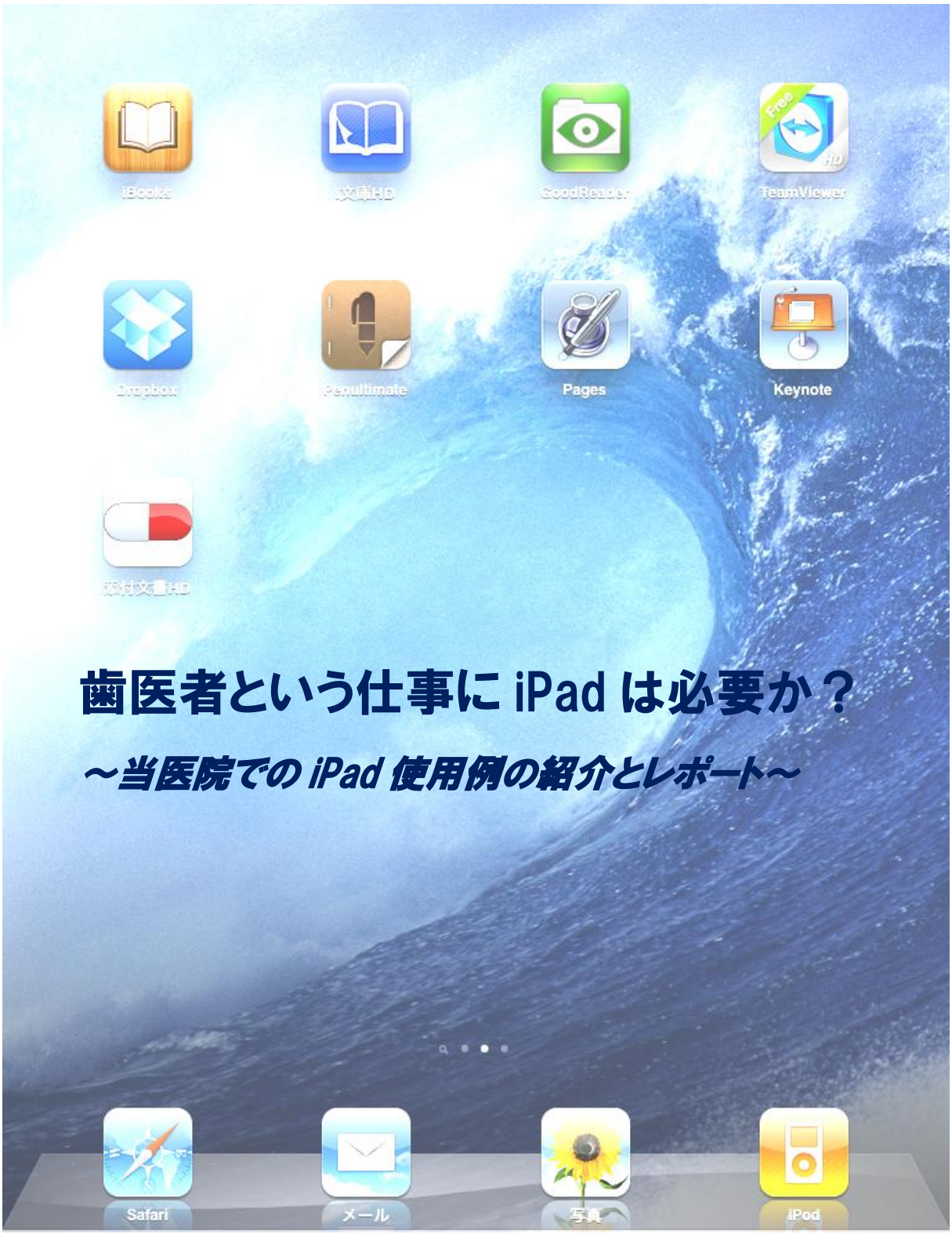



# 歯医者という仕事に iPad は必要か？

## *～当医院での iPad 使用例の紹介とレポート～*

# 歯医者という仕事にパソコンと iPad は必要か？

*～当医院でのパソコンと iPad 使用例の紹介とレポート～*

■　iPad ユーザー；関　孝史（Dentist）

## 《　緒言　》

Mac.Ⅱci 時代(かなり昔）からの Mac.ユーザーですが、あまりの IT 業界の激変にいつの間にか取り残されてしまいました。かなり Mac.は買い換えましたが、この状況はイコール資金難となって自分に返ってきました。新しい Mac.を購入する喜びと裏腹に貧乏になっていくのです。それに気がついて以来、新機種の購入をじっと我慢していましたが、今回この iPad はとうとう我慢の限界を超えての購入となりました。購入動機は今回は明確です。

**自分の手がけた症例の整理と、学会発表データの編集、研究会等での発表資料の作成のための 3 rd.PC と位置づけての購入**です。ノートパソコンとはまた違った使い方をするために思い切って購入を決めました。

通常使用しているクリエイティブ PC と比べると iPad はかなり劣勢ですが、機動性、デザイン性、使用使途の可能性の面では iPad は優勢です。現在メインのパソコンで作成したパワーポイントデータを iPad に移して研究会や勉強会、地方の学会等で活用しています。

私の歯科医師という仕事上でのアップルの新情報端末『iPad』の活用方法を今回レポート形式でご紹介いたします。

# 《　私のパソコン環境　》

現在私は、３台のパソコンと iPad のデジタルデバイスを使用しています。すなわち PC３台＋iPad の構成です。

iPad は機能豊富なデジタルデバイスのため、パソコンとは別枠と考えたほうが正解です。

## ① 自宅の Mac.PC（自宅のメインパソコン）

**１台目は自宅の古い Mac.**です。自宅のメイン PC です。私の使用しているのは少し時代遅れの Mac.パソコンですがネット検索や日常のメール等では何ら問題ありません。あまりに移り変わりが激しいので昔の Mac.から購入を控えています。なんと、子供の方が新しい Mac.を使っているのです！

そのため、自宅の Mac.では OS も iTunes も古いため購入した iPad と同期できない事態が生じてしまいました！

箱を開けた iPad をただ自宅で眺めるだけ…という事態は結構ショックでした。

思案の末、自宅の Mac.と同期させる事を諦め、医院で使用している Windows と同期させることにいたしました。

Mac.も Windows もあまり古い OS では iPad は使えません。

iPad を購入しようとしている人は、まず自宅のパソコン環境をチェックしてみる必要があります。せっかく購入した iPad がただの飾りになってしまいますのでここは要注意です！

iPad 利用に必要な OS と iTunes は以下のとおりです。

**パソコン：USB2.0 ポート搭載・Mac.(OSX 10.5.8 以降)・**

**Windows（Windows7/Vista/XP【SP3 以降】）**

**iTunes：バージョン 9.1 以降**

## ② 仕事場の WindowsPC（仕事場のメインパソコン）

**２台目は診療所の WindowsPC** です。仕事場のメイン PC です。この OS は **Vista** です。起動に少々時間がかかりすぎますが、仕事場ではこの PC で仕事をします。この DELL のノートパソコンも割と軽量ですが、持ち運ぶとなるとやはりかさばります。DVD のスロットが付いているためその分重たくなってしまいます。そのため昔はこのパソコンを携帯用のパソコンとして使っていたのですが、今は歯科医院のメインパソコンとして常駐させています。

１台目の自宅のパソコンも２台目の仕事場のパソコンも、基本的には持ち運びはしないでその場所でしか使いません。Mac.PC と WindowsPC はソフトによって使い分けてますが、今は**双方のデータは共用**できますので特に不便はありません。

メインパソコンはハードディスクやカメラの入力コードやプリンター、スキャナー等が近くにあり、これらのパソコンは持ち運びには少々不便なのです。DVD の入力装置も一体型のためノートブックタイプなのに重量も結構あります。

**メインのパソコンにつながった外付けハードディスクに主データを入れ、もう一台の外付けのハードディスクにバックアップ**をとります。

今は１テラ以上の大容量のハードディスクが安価でありますので、システムごとバックアップをとってしまうのも良いかもしれません。

## ③ 携帯用 WindowsPC（ノート PC）

そこで **3 台目のノートパソコン**の出番です。このパソコンは**エイサー**という台湾製の安価な PC（４万円台）ですが CPU は Celelon でメモリ２G、250G の HDD で **Windows7** です。[価格.com]で調べて最安値で購入しました。

この PC は DVD などの読み取りスロットは付いていませんが軽量で、我々が仕事で使うには十分です。片手で持っても疲れない重さです。データはメイン PC と共有しますので持ち運び用の２nd.パソコンとして活用しています。作成データはメモリや小型軽量 HDD がありますので、学会や研究会、旅行先では大変重宝します。

外で使う**携帯用のパソコンでは、使いたいデータのみを携帯ノート PC 本体に移すか、メモリや小型軽量 HDD に移して一緒に携帯**すれば、メインの PC と同様に使えますし、何より安全です。お金をかければさらに軽い日本製のパソコンもありますが、２nd.パソコンですから、安い方が良いのではないでしょうか？

## ④ iPad のデジタルデバイス

**４台目がこの iPad** です。この iPad はパソコンというより携帯用の遊びも兼ねた使い方をするので３rd.パソコンとはまたちょっと使用方法が異なります。この４台目の iPad はパソコンと言えるかどうかも疑問です。

仕事でもそこそこ使えて、電子書籍も購読可能、ゲームも出来るし、ナビにも使えて、ネットサーフィンも楽しめちゃう！　遊び道具のようで仕事にも十分使える、従来のパソコンの枠を超えたデジタルデバイスです。

iPad ユーザーは皆こんな感じで使っているのではないでしょうか？

iPad はメインのパソコンと同期して使うデジタルデバイスのため、iPad だけでパソコンのように使うものではありません。必ず主となるパソコンがあって、従となる iPad を利用します。時と場合によって使用するパソコンまたは iPad を選択するのです。

**日頃のデーターの整理は病院のメインパソコン**

**休日や夜に行う残務整理とプライベートは自宅のメインパソコン**

**学会や研究会などのプレゼン用には携帯用ノートパソコン**

**チョイ出の遊びやコーヒーブレイク時は iPad**

それぞれのシュチエーションでパソコンを使い分ければストレスも少なくなります。

出先に重たいパソコンは最悪です。行くだけで疲れてしまいます。

是非、無駄のない適材適所のパソコンの選択をされるとよいと思います。

# 《　私の仕事上のパソコン活用　》

私の仕事は歯科医師です。

常にパソコンと対峙している職業ではありません。日常ではパソコンに向かいあう時間はほとんど無く、患者さんの途切れた少しの時間と、昼休みだけです。

診療が終われば帰宅いたしますが、自宅で持ち帰りの仕事をやる時間も限られます。

オフの日は、やはりプライベートに時間を使いたいためなかなかパソコンと向き合う時間がありません。

しかし、その中でもわずかな時間を見つけてパソコンでやらなければならない仕事があります。

例えばメールのチェック、投稿論文の作成、ホームページの更新素材の作成、スタッフの勤務時間の集計、棚卸表等の作成、矯正やインプラント患者さんの画像の整理等です。

その私の仕事の中で最も大切なのは、**『矯正やインプラント患者さんの画像の整理』**です。

「これらの仕事はパソコンで必ずやらなければいけないものなのか…？」と思われている先生方も多くいらっしゃるかもしれません。しかし、実際の歯科治療と関係のないこれらの仕事はフィードバックされ、自分の診療に大変役立ちます。

したがって、歯の治療以外のこれらの仕事もやらなければいけないのです。

時間は何とか作り、病院のスタッフにも協力してもらい、友人の SE（システムエンジニア）にも助言をいただき、ちょっとしたコーヒータイムの時間も利用すれば結構やれてしまいます。中でも、**スタッフの手助けは必ず必要**です。日常診療に追われている先生方と診療スタッフが一緒になって、パソコンワークを協力して行う必要があります。

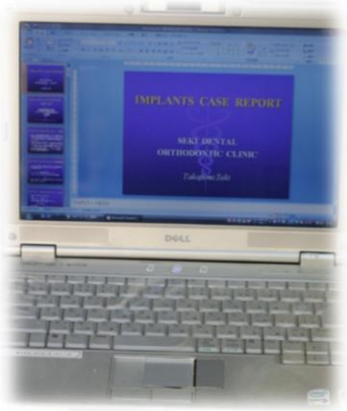
是非、**パソコンワークを日常のルーティンワーク**として行えるようにしてみてください。

さて、先に述べました私のパソコン環境でどのように歯科診療以外でパソコンや iPad を利用しているかをご紹介いたします。重ねて申し上げますが、私のパソコン環境は決して最新の環境ではありません。というか最新にする必要もありません。メインのＰＣ１台が、そこそこの機能を有していればいいだけです。

以下にそれぞれのパソコンで行う役割分担をご説明いたします。

## １st.PC（メインパソコン）＝（自宅と歯科医院の両パソコン）

自宅または歯科医院では**ある程度高機能の WindowsPC で画像整理**を行い、また **Powerpoint などでプレゼン資料、論文資料などを作成**します（自宅は古い Mac.ですが、歯科医院ではそこそこの機能の WindowsPC、OS は Vista です）。




左は病院のメインパソコンでの PowerPoint を使った症例の整理画面です。画像の整理には PowerPoint は必携のソフトです。そのままプレゼンにも応用できます。

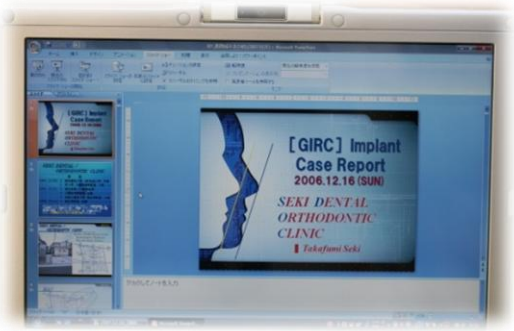
メインのＰＣは当然、CPU（頭脳）もある程度上位機種のもので、容量も大きくないと使い勝手が悪くなってしまいます。日々進化するネット時代を生き抜くにはある程度の PC 本体やソフトのバージョンアップは必要不可欠だと思います。

また、大切なデータのバックアップやさまざまな周辺機器の接続などがあるため、メインパソコンは持ち運びには当然不向きです。持ち運べないこともないでしょうが、重たくて、機動的ではありません。

したがって、**メインのパソコンは持ち運ばずサーバーパソコン、またはクリエイティブパソコンとして自宅や仕事場に限って使うのが一番**です。仕事によっては当然周辺機器もつないでおかなければなりません。スキャナーやプリンター、プロジェクターやスピーカー等の音源機器、など職種によって異なる機器が周辺にないと仕事にならないかもしれません。私の場合は歯科医師ですので通常プリンターとスキャナー、バックアップ用の HDD、があれば十分なのです。

私は歯科医院にあるメインのパソコンでだいたい仕事の８割を行います。iPad の同期も歯科医院の WindowsPC（Vista）で行っています。このメイン PC の仕事の内容は以下の通りです。

- **メールのチェック**
- **論文や研究会資料の作成**
- **スタッフの就業時間の集計**
- **患者さん用の説明資料の作成**
- **矯正患者さんの画像の整理**
- **インプラント患者さんの画像の整理**
- **HP の素材資料の作成**



だいたいこれらが歯科医院のメインパソコンで行っている仕事です。

自宅のメインパソコンは、歯科医院のパソコンのサブで使用します。

## ２nd.PC（携帯用軽量パソコン）

メインパソコンで作成したデータを持ち運び用の軽量２nd.パソコンに移し、学会、研究会等で使用します。

この軽量２nd.パソコンではメインパソコンで作成したデータを移し換え、出先で修正や編集のし直しなども行います。携帯用のため、データを全て PC 内に入れて持ち歩くことはいたしません。どうしても必要な時には、携帯用小型大容量 HD にデータを移し、携帯用２nd.PC と一緒に携帯します。

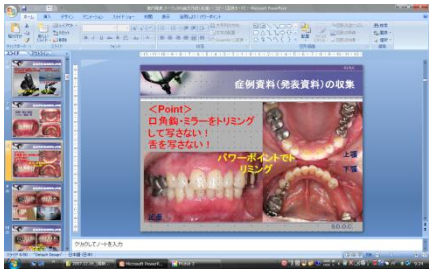
当然、メインパソコンのような高機能は必要ないため、軽量で価格も抑えたものを使います。軽量を重視しますが、ネットパソコンのような CPU が Atom では仕事によって少し厳しいかもしれません。

私のお勧めはエイサーやアスウス、ヒューレットパッカーや DELL などの海外メーカーです。CPU は Celeron 以上がお勧めです。その仕様で、**２nd.PC はできれば５～６万円以下**に抑えたいものです。低価格ですが、使う用途を考えればこれで十分なのです。

私の携帯用 2nd.パソコン（acer aspire 1410 / Celeron / 2GB-Memory / 250GB-HDD）

での仕事の内容は以下の通りです。

- **学会や研究会等での発表（ PowerPoint ）**
- **スタディグループでの発表**
- **旅行先での発表資料の整理**




ほとんど出先での発表や講演をするための用途にこの携帯用２nd.パソコンを使います。

また、**OS は Windows7 のため起動も早く「いつでも」「どこでも」というシュチエーションでは重宝**いたします。

## iPad（最軽量デジタルデバイス）＝3 rd.PC

ここで iPad の登場です！！

3 rd.パソコン（？）として位置付けている iPad は診療時の説明用ツールやちょっとしたコーヒーブレイク時のデータ整理、プライベートツールとして使うようにしています。勿論学会でも十分使えてしまいます。スタバで電子書籍を見たり、マクドナルドでソフトバンクの無料で提供する公共電波からネットにアクセスするのもいいかもしれません。

（Wi-Fi 機種の場合）

iPad は起動時間が早くストレスフリーでメモ代わりに使えるため、思いついた文章やアイデアのメモにも非常に便利です。実はこのレポートもコーヒータイムのちょっとした時間に iPad で下書きを作製致しました。このレポートの下書きには i アプリの『**Pages**』を使いました。

ネットにもつながり、チョイ出には必携ツールです。**ちょっとした勉強会や研究会から命をかけた学会発表まで使えちゃうのが iPad というデジタルデバイスです。**（ただし、メインパソコンとセットで使うのです！）

ただ、iPad をパソコンンのように使うには無理があります。

iPad は、はじめはパソコンに代わる画期的なツールと思っていましたがそうではありませんでした。

今後の**クラウド時代に先駆けてのデジタルデバイス第一号**と言った方がいいかもしれません。**クラウドコンピューティング**とは、一言でいうと、サーバーにアクセスして情報をやり取りする方法のことです。持ち運びの情報端末の中には情報は入っていなくても大丈夫ということです。ただ、このような使い方を誰しもするかといったら疑問です。今のところクラウドコンピューティングの恩恵を受けそうな人は、バリバリの営業マンか、日本各県、世界各国を飛び回ってる商社マンや社長さんくらいでしょうか....。

常にひとつの病院で歯科医療を行っている私に、このクラウドコンピューティングがどのような恩恵をもたらしてくれるのかはまだ疑問の余地が大きいですが、iPad は便利なツールには変わりません。

私の iPad は以下のような仕事に使用いたします。

- **携帯用パソコンとほぼ同様に使用（学会では PowerPoint を使える 2nd.PC を使用）**
- **学会や研究会等での発表（Keynote）**
- **スタディグループでの発表（Keynote）**
- **旅行先での発表資料の整理**
- **患者さんへの治療説明（Keynote）**

このようにそれぞれのパソコンや iPad を使い分けています。

パソコンでないと出来ない仕事もありますが、iPad のように気楽に使いたい時もあるのです。パソコンは仕事メインですが、iPad は仕事と遊びの両用です。iPad は遊びに出掛ける時に携帯するといいかもしれません。

**1 st.PC , 2 nd.PC , 3 rd.PC とそれぞれの場所、シュチエーションで使い分ければ大変便利**です。お持ちの全てのパソコンに高機能、高頭脳を求めたらいけません。家電パソコン売り場の店員の言うとおりに買っていては高くついてしまいます。使う場所と用途によって賢い買い物をした方が安く上がり、賢明です。（お金が十分あればその限りではありませんが...）

さらに言うと、家電店舗で購入するより、ネット通販で最安値を探して購入というのもお買い得です。

自分のスタイルに合わせて、「パソコンで何をしたいのか？」を第一に考え、それに見合った PC を買えばいいのです。

パソコンを買ってから「さて何をしようかな...？」ではお金の無駄になってしまいます。

そして、「一つの PC でいつでもどこでも何にでも...」というのは無理だと思います。

適材適機種のパソコンを良く考えて購入して下さい。

高機能の PC を買っても 3 年もすれば、機能を使いこなす前に古いパソコンに型落ちしてしまいます。そんなに最新の機能が必要か、良く考えて下さい。これは私の経験上の私見です。

ただ、**メインのパソコン仕様はある程度新しいものでないと最新デジタルデバイスの iPad は使えませんので気をつけて下さい。**

# 《　iPad という新情報端末とは？　》

## ■　iPad の長所と短所について

米国アップル社の最新情報端末『iPad』は 2010 年に日本で購入可能になりました。思いっきりシンプルなデザインと画面に触れて直感的に操作するこの iPad は、今までのパソコンにとって替わるものかという期待が多かったですが、購入してみてそうではないのがすぐにわかりました。

iPad の電源を入れても、メインとなるパソコンの iTunes との同期を求めてくるので、それが完了しないと何もできないのです！！　更に、メインとなるパソコンの OS も古いと同期ができません。また、iTunes の OS が古くても同期が出来ないのです。

アップルの戦略にまんまとはまってしまったような気がしてしまいました！

当然このことは最大の短所ではないでしょうか？

喜び勇んで iPad を購入し箱から出してみましたが、しばらく眺めているしかありませんでした！

iPad がメインのパソコンと同期できるようにして、実際の新情報端末を触ってみますと、いろいろな事に気がつきます。iPad 単体での使用はなかなか難しい…というのが本音です。

**【長所】**

・パソコンよりは軽い（約 700 ㌘）

・起動が早い

・操作が快適

・画面がきれい

・一度購入したアプリは無料で再入手できる

・プレゼン効果が期待できる（ページを指でめくる感覚のプレゼンはとても良い）

**【短所】**

・パソコンより軽いが片手で持って使うには結構疲れる

・クラウドコンピューティングに慣れていないと容量が不足しがち

・画面上のキーボードが使いづらい

・文章の縦書きが出来ない

・電子書籍の長期使用は目が疲れる

・iPad のアプリと Mac.や Windows の PC とのアプリとの完全互換性が無い

・フラッシュを使うウェブサイトの表示ができない

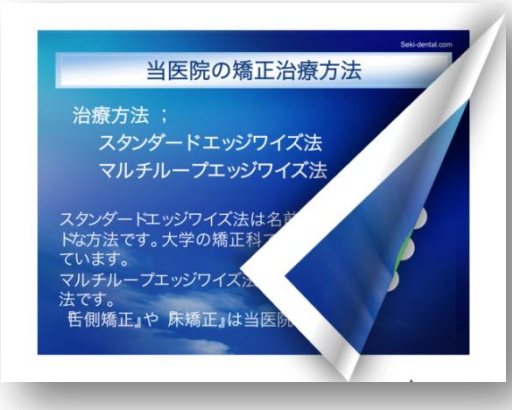
・iPad の CPU はパソコンより非力

・パソコンなしでは写真の整理が不便

・パソコンにバックアップをしていないと有料で購入したデータ（音楽や音楽ビデオ）を買い直さなければならない

など、使ってみると色々な不満も出るが、総じて iPad はパソコンとは違うものだということを考えれば、新しい可能性に富んだビジネスツールと言えるのではないでしょうか。

## ■　パソコンと iPad をどのように共存活用するか？




上記の iPad の長所、短所を考えれば、**当面はパソコン主体で仕事を片付け、使えるデータのみを iPad に移し、iPad ようのアプリで修正を加え簡単なプレゼンを行う**か、もしくは**クラウドコンピューティングを利用**してパソコン側のデータを iPad を介して操作するといったどちらかの使い方が考えられます。

後者の**クラウドコンピューティング**は、常にネットにつながっていることが条件の為、現在では少々高くついてしまう可能性があります。

また、**我々のようなあまり移動の無い仕事（私は歯科医師ですが）の場合、iPad が 3 G で常にネットにつながってなくても、院内や自宅の Wi-Fi を使えれば十分**なのです。

更に、iPad を使う用途を絞り込めば、かなり活用できるのではないでしょうか？

つまり、ゲームのアプリは２～３本にし、音楽も iPod で聴けば十分なため、あえて iPad に音楽データをためなければプレゼンデータの容量はかなり使えます。

私は、仕事６割、プライベート３割、遊び１割の比率で iPad を使うようにしています。

そして、**可能な事はパソコンでほとんど作成して、iPda に移して修正するというスタンスで iPda を利用すればこの新しいデジタルデバイスの iPad の利用価値はかなり高い**のではないでしょうか？

## ■　iPad（デジタルデバイス）の使用例

私の仕事は歯科医師です。バリバリの商社マンでもなければ、営業マンでもありません。クラウドコンピューティングを意識した使い方をする場所や機会はあまりありません。

しかし、**臨床サイドでは結構重宝**しています。

自分の論文を PDF のデータに変換して『i 文庫』などの i アプリの中に本棚に並べる感覚で保存しても面白いかもしれません。それこそ論文を指でページをめくるような感覚で閲覧できます。

私の場合、臨床症例の経過をまとめてスキルアップしたり、学会等の資料作成を行うのにサブ PC として使用しています。

勿論 iPad だけでもこの仕事は可能ですが、タイプのしやすさや、容量の関係でやはり iPad はサブ PC の扱いになってしまいます。しかし、作成データさえ iPad に移してしまえば大変便利です。軽量で起動が早いため、チェアーサイドでの説明には大変便利です。

iPad はパソコンに比べ起動が早く、スマートでお洒落に治療説明が可能です。

そのほか、ネットでの調べ物や、コーヒータイム時のアイデアメモや、ブログ文章のメモ、電子書籍の購読など、使用使途は多く結構仕事以外でも楽しめます。

仕事に使うもよし、本を読むもよし、ゲームに興じるもよし、と結構 iPad は使えるデジタルデバイスです。

現在は Windows の 2 nd.PC よりこの 3 rd.PC（iPad）のほうが使用時間が多いかもしれません。

そんな iPad の私の仕事での具体的な使用例をちょっとご紹介いたしましょう。

## ● iPad で『インプラント治療』や『矯正治療』の説明用スライドを作る

## ● iPad で勉強会発表用のプレゼン資料を作る

**＜WindowsPC で作成した PowerPoint データを iPad の Keynote で表示＞**

我々の仕事では上記の事が iPad でできれば、今まで以上に仕事の効率やモチベーションが上がります。また、他のプレゼンにも応用が利きます。

インプラント治療の説明だけではなく、矯正治療や、補綴治療、歯内療法、外科治療などの説明をより効率的に、スマートにできます。

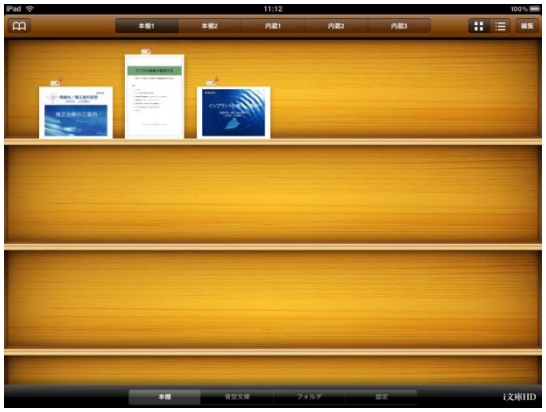
**それぞれのご専門に応じて自分なりのセールスポイントを他人にわかり易く説明するツールとして、この ipad はかなり有効活用ができるのではないでしょうか？**

患者さんに説明するための紙芝居的な説明スライドをそれぞれ用意しておくのです。

そして、チェアーサイドで iPad を使って説明します。

患者さんもより具体的な実例を見ることによって治療の理解度が深まります。

また、パソコンでの PowerPoint によるプレゼンよりも **PDF ファイルに変換**したデータを**『i 文庫』などの i アプリでプレゼン**する方が、温かみのあるプレゼンが可能です。



PowerPoint のプレゼンに慣れている人は、是非この方法を試してみてください。

同じプレゼンでもかなり印象が違う事に驚くのではないでしょうか？

**また iPad は、所属の学会や研究会、勉強会等での発表用プレゼントしても十分威力を発揮します。**

日頃の研究課題の成果や臨床症例の経過などをまとめて発表…なんてことはとても簡単にできてしまいます。

昼休みにコーヒーを飲みながら、依頼講演時間に合わせたプレゼン資料を追加修正したり、デザインを変えたり・・・といったことも簡単です。

【ｉアプリの「Keynote」の画面】

先ずこの２点を iPad でできるようにしてみてはいかがでしょうか？

あとは、自然とアイデアが湧いてくるのではないでしょうか？

iPad は可能性を秘めたデジタルツールです。使い込んだ分だけ深さも体感できるような気がします。

## ■　具体的な手順

### ①Powerpoint を使えるようにする

先ず初めに、WindowsPC、または Mac.PC で Powerpoint を使えるようになって下さい。

【WindowsPC の「PowerPoint」画面】

症例の整理、学会の発表スライド、学術プレゼン、研究会での発表・・・

これらは全て紙芝居形式に並べて話のストーリーを作らなければなりません。プレゼン時間にも制約があるかもしれません。このような**プレゼンをするには何と言っても『PowerPoint』が必要**です。

要するに話の内容を分かり易くスライドにまとめ、紙芝居形式で発表出来るようにしてくれるソフトが PowerPoint であり、Keynote なのです。

PowerPoint は Windows 用も Mac.用もありますが、Keynote は Mac.だけのソフトウェアです。

このスライドプレゼン用のいずれかのソフトを使って、自分の『専門治療の案内』や、『医院案内』、『症例集』、または『子供の成長記録』、『友人の結婚式』などのスライドを作製してみてください。

この **PowerPoint で作成したスライドを iPad に移す**のです。

また、**PDF というファイルに変換して iPad に移す**こともできます。

プレゼンデータを移した後は iPad の Keynote でフォントやエフェクトの多少の修正が必要ですが、問題なくデータを iPad で見ることができます。

iPad はあくまで 3 rd.PC の位置づけです。 1 から iPad でデータを構築するのではありません。

**メイン PC、 2 nd.PC で作成した PP データ（パワーポイントデータ）を iPad に移す**のです。（または、**メイン PC、 2 nd.PC のデータをネットを介して閲覧**するのです）

<u>従って、メイン PC、 2 nd.PC でパワーポイントである程度スライドの完成度を高めておく必要があります。</u>

撮りためた症例データや、論文資料などを基に、自分なりのストーリーでメイン PC、 2 nd.PC 内に Powerpoint で作成したスライドデータを保存しておきます。（Powerpoint の使い方は各自慣れて下さい。色々な取り説書籍も出ています。）

仕事のためのスライドとしては**『病院の案内』、『インプラント説明』、『矯正説明』、『症例集』**など。

プライベートとしては**『長男成長記録』、『家族旅行』、『ピアノ発表会』、『体育祭 2010 年』**などのタイトルではどうでしょう？

スライドといってもなにも静止画だけのスライドではありません。動画も音声もスライドになります。

学術で使う場合には powerpoint は必携のツールです。学会発表、研究会発表とうスライドプレゼンでは最も有用なソフトです。発表やプレゼンには必要不可欠と言ってもいいかもしれません。

もし、まだこの Powerpoint というスライドプレゼンソフトをお使いになっていらっしゃらないならば、是非ご購入して下さい。

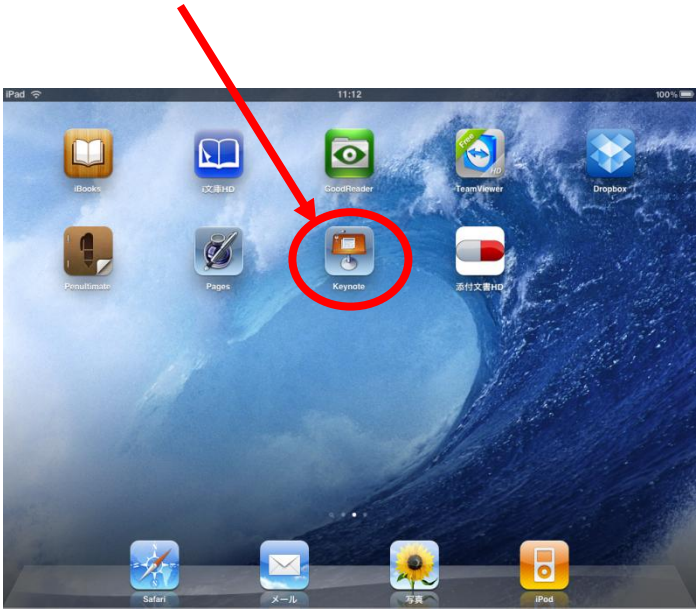
この先の説明は PP データ（パワーポイントデータ）を使っての説明になります。

## ②iPad に Keynote（￥1,200-）を購入ダウンロードする

メイン PC、２nd.PC で PP データ（パワーポイントデータ）が準備できましたら、このデータを iPad に移していきます。iPad 内でも PP データの加工は出来ますので安心して下さい。

このデータの移行はとても簡単ですが、その前にやっておくことがあります。

iPad に Keynote（￥1,200-）を購入ダウンロードすることです。




iPad を購入すると先ず iTune のメイン PC との同期が必要になります。iTune は何も音楽を聴くためだけに必要なのではありません。iPad 用のソフトの購入や、データのやり取りにはこの iTune が必要になります。

従って、**iPad を使いこなすためには iTune も使いこなさなければいけません**。

ただ、難しく考えることはありません。Mac.のソフトはほぼ直感的に使えます。

iPot を使う時に「取り説」の長い文章を読みますか？

Mac.の iPad 自体に説明書は付いていません。自由に触ってくださいということなんです。すぐ使い方に慣れてしまうので説明不要ということなんです！

表計算ソフトの「Numbers」、ワープロソフトの「Pages」、プレゼンテーションソフトの「Keynote」は windows パソコンの代表的ソフト「Excell」「Word」「PowerPoint」の対極に位置する Apple 社の代表的なソフトです。 中でも Keynote は、私が思うに PowerPoint を遥かにしのぐ素晴らしいプレゼンテーションソフトでると感じます。

ただし、iPad 用の「Keynote」と Mac.用の「Keynote」はちょっとだけ違います。

値段が値段だけに、その辺は少々我慢が必要です。

Keynote の洗練された直観的なインターフェイスは現状の PowerPoint ではなかなか真似ができないのです。

同じプレゼンを行っても PowerPoint より KeyNote のほうが、かなりオシャレに感じてしまうのは私だけでしょうか？

シンプルな操作に加え、洗練されたデザイン、そのくせお手頃な価格。

PowerPoint に比べると KeyNote の方に軍配が上がってしまうのではないでしょうか？

Keynote の機能自体は PowerPoint と比べれば少ないですが、そのかわり厳選されて本当に必要と思われるものだけに絞られている感じがします。そしてその直感的なインターフェイスによって、それら必要な機能をすべて使いこなせるようにまとまっている気がします。機能がいくら豊富でも複雑すぎれば使い切ることができず、無駄な機能に終わるものもなかにはありますが、Keynote にはそれがありません。少々褒めすぎでしょうか？

勿論、**Mac.版 Powerpoint は Windows 版 Powerpoint よりも相性がいいものの、完全互換性があるかといったらそうではないので、iPad に取り込んだデータはもう一度再チェックをしてみる必要もあります。**

ただ、その程度の修正は大した負担にはなりません。

iPad を購入したら、この Keynote も必ず購入すべきです。

自分のプレゼンイメージが具現化される感動を味わいつつ、プレゼン作成と同時に人に見てもらう機動性は iPad ならではのものではないでしょうか？

## ③PowerPoint→iPad へデータ移行

**iTune を使って Windows 又は Mac.で作成した PP データを移します。**

この操作は簡単です。iPad に付属のケーブルでメインパソコンに接続するだけです。すると、自然に iTune が起動して同期するデータを移行します。どのデータを取り込むかは設定で選択できます。

Powerpoint データは iTune のアプリから取り込み先の Keynote を選択して、そのあと取り込み元のデータを選択します。後は『同期する』のボタンをクリックするだけです。

『同期』が完了したら、iPad 側の Keynote からファイルをインストールします。

この作業で、Keynote のプライベートファイルに表示されるようになります。

このファイルをクリックしたら Keynote が立ち上がりプレゼンが即可能です。

**データを移行したら、フォントやエフェクトの動作確認が必要**です。色合いも多少変化する場合もありますので、**Keynote 上で修正**して下さい。メインのパソコンで作ったプレゼンデータと全く同じというわけにはいきませんが、iPad 用のプレゼン資料ということで作成しておいたらいかがでしょうか？

時と場合に応じて２nd.パソコンでプレゼンするか、iPad でプレゼンするかを選択するといいのではないでしょうか？

あと、**iPad には『i 文庫』という i アプリがあります。文庫本を iPad で読むためのアプリケーションソフト**です。このソフトを iPad にダウンロードして、この中に PDF に変換したパワーポイントデータを読み込むと、あたかもページをめくるような感じでスライドデータを見る事が出来ます。

これはちょっといいかもしれません！

Keynote や PowerPoint とはまた違ったプレゼン形態を体感できます。機械的に画面を切り替えるスライド形式と違って、指でページをめくるようにしながらスライドプレゼンが可能です。iPad ならではのソフトな感じのプレゼンができることは、結構いいと思います。

## 《考察》

**iPad はパソコンにかわるものではありません。**

メインのパソコンを軸に、ユーザー自身のオリジナル利用の可能性を秘めたデジタルデバイスです。我々の**歯科医療分野でも十分利用価値がある**と思います。

さらに、少人数のスタディグループから学会レベルまで使用可能です。ただし、メインパソコンで完成した PowerPoint データを移して利用するか、クラウドコンピューティングを利用するか、どちらかの使い方になると思います。

前者の利用が現在としては最も有効ではないかと感じています。

後者の利用としては、まだまだ、社会の認知度が低く、クラウド社会が普通になるにはもう少し時間がかかるかもしれません。

ただ、IT 分野の進歩は速く、意外と早くクラウドコンピューティングが普通の時代が来るのではないでしょうか？

歯科医としての仕事の上で iPad を生かすとすると、まずは得意とする分野のプレゼンや研究会等での発表ということになるでしょう。

その場面での iPad の使い勝手はとても良いと思います。

患者さんへの治療説明には大変重宝いたします。

ただ、一言付記するとすれば、**「自分の症例でプレゼン説明をしてください。」**ということです。

自身のプレゼンに信憑性を持たせて下さい。他人の素晴らしい症例を iPad で説明してもはじまりません。是非、自分の施術した症例と合わせて iPad のデジタルデバイスを用い、より良い治療の説明、提供を行ってください。

そうすれば、相乗効果でプレゼンの威力も大きくなります。

いずれにせよ **iPad は、使い方によっては有効なビジネスツールになる**と感じています。

可能性を広げ機動性に富む iPad は、使い方を考えて有効活用するメリットは十分あると結論付けたいと思います。

Takafumi Seki